

熊よけにハニカム構造？

夜間に活躍する野生の動物たち

04 a

ながひさ歯科クリニック 長久巧—

電子工学 音響工学 関谷信— 波多巖木工所 波多雅— 富山県新世紀産業機構(工博) 溝口正人

●どんな実験なの

令和6年に熊が指定鳥獣に指定され、冬眠前に餌を求めて人里に降りてくる熊「アーバンベア」の世界と人間の世界が共存できる境を作る方法がないかを新聞のニュースで知り考えました。

令和6年暖冬の正月、山には餌が不良で鹿、熊、イノシシ、ハクビシンなど被害が多くありました。砺波市の鳥獣被害防止協議会で電気柵の修理に同行の機会があり、その時私の方法を説明すると大歓迎を受けました。

熊はねこ科に分類され足の裏は柔らかな肉球を持ち、この足の裏の弱点を熊に学習させ人間の世界へ入らないような「誘導させる方法」に至りました。友人(溝口君)の紹介で南砺市にある波多巖木工所が暗視カメラで観察していると聞き木製と鉄工所の鉄製のものと共同で近くのけもの道に並べて実験しました。当初クルミを食べる熊の様子がNHKとアメリカのCBSに放送されたそうです。

その後成果は今のところ不確実ですが、熊の気配が無いときは、その動画にはびっくりするほど多くの動物も映っていました。それも紹介します。

●用意する物

8千円ぐらいの暗視・遠赤外線カメラ パソコン

●熊の好きな食べ物

クルミ、どんぐり、果実、魚、ふかひれ、農機具の油、ブナの木油脂、人間の食べ残し、特にハチの巣の蜜、蜂の巣の構造「ハニカム構造」のゼラチン質…蜂の構造は私の開発したスキーゲレンデの表面と同じでひらめいた物です。

この構造は六、八角形で上下2重のピラミッドの空間を持ち次のダンボールの廃棄物利用につながります。

●熊の嫌がること？

- 1、熊の前で傘、竹、木材を広げて大きく見せる？…江戸、明治時代は竹で格子を作ったと聞きます。
- 2、小さな蜂の巣のハニカム構造の木枠10×10cmの1平方メートル四方の立体像が大きく見えて威嚇する事に成るのかな？
- 3、死んだふりして動かないこと？…弱い立場の羊は集団で死んだふりをします。
- 4、足の裏の肉球に傷をつける事、足が挟まる時、骨折、ねじれる事…犬、猫は近よらない・実証済み
- 5、鈴を鳴らしたり、除草剤をまく・犬の臭覚より優れている、…人の存在を教える事、現在人の耳に聞こえない音「音響」、光でいろいろな企業が探索中。
- 6、平地より凹凸の坂道が好きらしい 7、その他

●格子状のゲレンデの表面と新聞の記事

令和5年12月30日

左 富山新聞

令和6年11月27日

右 北日本新聞

